

平成29年度 新人教育経年別スケジュール(新人教育1年目)

	到達目標	必須研修項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒業1年目	1) 病院組織の一員として自覚を持ち行動できる 2) 基本的な看護技術・知識・態度を体得し、助言指導を受けながら患者に安全な看護サービスが提供できる	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修(チェックリストに沿った基礎看護技術) ・ローテーション研修 ・専門職業人としての研修 ・接遇とコミュニケーション研修 ・シャドウ研修 ・多重課題研修 ・入院体験研修 ・フィジカルアセスメント研修 ・高齢者ケア研修 ・看護倫理研修 ・看護記録 ・医療安全 ・看護観研修 ・記録研修①② ・フォローアップ①②③④ 	研修名	1. 新人看護職員技術研修(集合研修) 4/5~4/10 2. ローテーション研修 4/11~4/24 3. 専門職業人としての研修 4/28(金) 4. 接遇とコミュニケーション研修 4/28(金) 5. 1ヶ月のフォローアップ研修 ①4/28(金)	6. シャドウ研修(日勤・夜勤各1回)(各部署で担当)	7. 他部署・他部門研修 8. 3ヶ月フォローアップ研修と実施 6/27 火曜日 1日研修 9. 入院患者体験(各部署で担当)	10. 医療安全と看護 7月3日月曜日 90分研修 14:00~15:30	11. フィジカルシミュレーション研修 12. 記録研修① 8/2 水曜日 1日研修 8:30~17:15	12. 多重課題シミュレーション 13. 6ヶ月のフォローアップ研修③ 9/27 水曜日 1日研修 8:30~17:15	14. 高齢者ケア研修 10/4 水 午後 4時間研修 13:00~17:15	15. 看護倫理研修(高齢者と認知症ケアを含む) 11/11(土曜日) 1日研修	16. 記録研修② 1/31 水曜日 14:00~15:00	17. 看護観の研修 18. 12ヶ月のフォローアップ研修④ 3/12 月曜日 午後4時間研修 13:00~17:15		
			院内	1-1 臨床実習で学んだ基礎看護技術を確認する 1-2 当院の手順に沿って基礎看護技術が体験できる 2-1 各病棟の特性を知る 2-2 基礎看護技術を臨床の場で経験する 3-1 看護の動向を理解する 3-2 看護職員として必要な基本姿勢を学ぶ 3-3 チーム医療の中で看護師の役割を学ぶ 4-1 社会人・医療人としての基本的なマナーを学ぶ 4-2 患者や家族との信頼関係を築くために必要なコミュニケーションを学ぶ 5-1 ローテーション研修での学びを共有する 5-2 入職1ヶ月の学びや悩みの共有する 5-3 今後の自己課題を明確にして、明言できる	6-1 新人が実際の看護現場における看護師の動きを見る、知る、体験する。 6-2 日勤・夜勤業務を具体的にイメージできる 6-3 複数患者のケアマネジメントの優先順位と時間配分、チームメンバー間の協力・連携・情報交換の実際を知る	7-1 他部署・他部門の機能、特性と自部署との連携を知る 8-1 入職3ヶ月の学びや悩みを共有する 8-2 今後の自己課題を明確にして、明言できる 8-3 夜勤導入に対する留意点がかかる 9-1 自己の入院患者体験を通して、入院患者の療養環境や心理面を理解し、倫理的視点と態度を学ぶ	10-1 KYTを学び危険予知の意味がわかる 10-3 研修後どのように活かしていくかわかる	11-1 演習を通してフィジカルアセスメントの基礎知識と観察技術を学ぶ 11-2 急変時の対応と救命処置の基本を学ぶ 11-3 SBARを用いた報告の仕方がわかる 12-1 看護記録のルールと実践に活かせる看護記録方法を学ぶ 12-2 SOAPについての知識を深める 12-3 統合アセスメントを学ぶ	12-1 時間切迫の状況下で多重課題の優先順位を考え行動ができる。 12-2 適切な報告と確実な看護技術が指導のもとで実践できる 13-1 入職6ヶ月の学びや悩みを共有する 13-2 新人チェックリストを用いて、今の自己の成長を認めることができる 13-3 今後の自己課題を明確にして、明言できる	14-1 脆弱な皮膚へのスキンケアと褥瘡予防の基本がわかる 14-2 誤嚥性肺炎を通して倫理的な視点と態度を学ぶ 14-3 当院の嚥下食についてわかる	15-1 看護に必要な倫理的視点がかかる 15-2 身近な事例を通して倫理的な視点と態度を学ぶ	16-1 看護記録のルールと実践に活かせる記録方法を学ぶ 16-2 SOAPについての知識を深める 16-3 統合アセスメントの記載方法を学ぶ	17-1 自己の看護観を明らかにする 18-1 1年間の自分の看護を振り返る 18-2 2年間の自己課題を明確にし、明言できる		
			講師	1. 研修担当者 2. 各部署 3. 看護部部長 4. 看護部次長	6. 各部署	7. 8. 研修担当2名 9. 各部署	10. 医療安全管理者 インストラクター2名(研修担当1名含む) 第2会議室	11. フィジカルインストラクター2名 研修担当2名 5階病棟	12. 研修担当者 ・実地指導者 ・インストラクター 5階病棟	14. 皮膚排泄ケア認定看護師/言語療法士 研修担当者(2名) 第1会議室	松江市立病院 老人専門看護師 吉岡 研修担当2名 委員長・副委員長 第1会議室	記録委員会2名 5階病棟記録室	研修担当1名 看護副部長 委員長 第2会議室		
院外研修と自ら取り組む研修	院外で参加する研修：①市町村新規採用職員研修5/11~12 ②新人助産師多施設合同研修(出張扱い) 1週間前に出張伺いと研修記録を出して、出張終了後1週間以内に復命書・研修報告書を提出する。 オンデマンドを最低でも3つは視聴すること。自らの時間で院外研修にも積極的に参加する。最低でも1回を目指そう。														